

題字は元会長 加藤忽輔氏書く

宮城県桜師会の継続

日本大学全国桜師会宮城県支部長

田中 亨

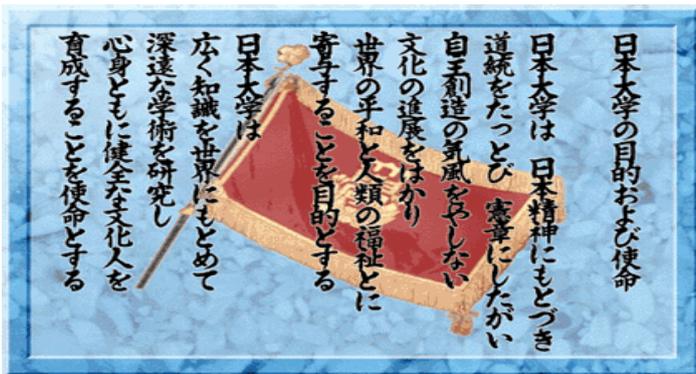
いよいよ夏の到来を迎え、宮城県桜師会の会員の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、これまでの本会の活動へのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。令和二年度より日本大学桜師会宮城県支部長を拝命いたしました田中亨(聖和学園高等学校)でございます。事務局長の青沼一岳先生(仙台市科学館指導主事)とともに会を運営してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、令和二年度の総会・研修会・懇親会は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止とさせていただきます。日本大学を卒業し、宮城県内の公立私立学校の教職員として勤務されている方々や、勤務されている方々の研修及び親睦を図り、互いの資質向上に努めようと毎年開催してまいりました本会は、参加者の



減少や高齢化、現職の教職員、特に若い教職員の参加が少ない現状を踏まえ、会務運営を見直しながら継続開催してきた経緯を考えますと、残念でなりません。その後もコロナ禍において予断を許さない状況が続いておりますが、変異株の発生に伴う感染の拡大、宮城県がまん延防止等重点措置の実施区域になるなどの状況を踏まえ、誠に無念な決断ではありましたが、今年度におきましても役員会・総会・研修会・懇親会を中止とさせていただきます。

現在、宮城県でもワクチン接種が加速している状況にあります。接種も徐々にはじまり、終息の途上にあるものと思われ、花の精鋭



現在、宮城県でもワクチン接種が加速している状況にあります。接種も徐々にはじまり、終息の途上にあるものと思われ、花の精鋭

ホーム 総会・研修会 お問い合わせ



宮城県桜師会

ようこそ 日本大学宮城県桜師会のホームページへ

本会は、日本大学宮城県桜師会と称し宮城県内在住の校友で教職員にあるもの並びにあつたものをもって組織しています。本会は、会員の資質の向上及び親睦を図ることを目的として次の事業を行っています。

- 1 会員の研修に関すること。
- 2 会員相互の親睦に関すること。
- 3 母校の発展及び全国桜師会・校友会宮城県支部事業への協力に関すること。

<お知らせ>

連絡先：宮城県桜師会web担当
「お問い合わせ」から連絡をお願いします。
担当より返信しお伝えします

花の精鋭

新型コロナウイルス感染症の猛威から2年目。ワクチンの接種も徐々にはじまり、終息の途上にあるものと思われ、花の精鋭

らない状況です。今年度の総会をはじめ一部事業も、昨年度に引き続き感染症の状況から中止することとなりました。アフターコロナに向けて、花の精鋭まだまだ我慢のときです。(事務局)

アドレス <https://miyagiken-ohshikai.jimdo.com/>
「宮城県桜師会」で検索してください。

令和二年度事業報告

二・六・二十八

役員会案内発送

七・十一

役員会【高崎中】

九・二〇

研修会・総会中止通知

九・二三

事務引継【科学館】

令和 2 年度会計報告

1 収入の部 57,120 (円)

〈収入の部内訳〉

- ①H31 年度繰越金 2,036
- ②R2 年度会費 31,084
- ③全国桜師会から 10,000
- ④雑収入 14,000

2 支出の部 33,504 (円)

〈支出の部内訳〉

- ①通信費 12,694
- ②会報・事務費 5,810
- ③会議・研修費 0
- ④慶弔費 0
- ⑤負担費 15,000
- ⑥雑費 0

3 差引残高 23,616 (円)

令和三年度事業計画

三・七・三十一

会報第三十四号発行
研修会・総会中止通知

令和 3 年度予算案

1 収入の部 63,616 (円)

〈収入の部内訳〉

- ①R2 年度繰越金 23,616
- ②R3 年度会費 30,000
- ③全国桜師会から 10,000
- ④雑収入 0

2 支出の部 63,616 (円)

〈支出の部内訳〉

- ①通信費 15,000
- ②会報・事務費 10,000
- ③会議・研修費 10,000
- ④慶弔費 10,000
- ⑤負担費 15,000
- ⑥雑費 3,616

3 差引残高 0 (円)



恩師との再会

仙台市科学館 2 階廊下には、南極の石が展示されています。南極の石でピンときた方はそのとおり、この南極の石は、文理学部地理学科教授を二〇一〇年十月に定年退官された小元久二夫先生ご提供による貴重な標本です。先生は、仙台市生まれ、東北大学にも在籍されていた縁で、平成三十一年三月に標本をご提供くださいました。これらの標本は、仙台市科学館において令和元年九月から一二月に

開催された、小企画展「南極もつと知りたい展」において展示していただいたものです。先生は、専門分野を自然地理学、地球年代学、地形学としており、東北大学助手の間、六八年〜七四年にかけて、第十次および第十四次日本南極地域観測隊越冬隊を経て、日本大学教授としてお勤めになられていました。

私も、文理学部地理学科在籍時に小元先生の地形学、年代測定法の講義を受講しており、その講義や実験で学ばせていただいたことが懐かしく思い出されます。

平成三十一年春に私が仙台市科学館に赴任し、企画展の準備にあたり、標本を通して先生に二十年振りに「再会」いたしました。早速に先生にお電話したところ、南極の話や当時の講義について熱く語られ、当時と変わらない先生の情熱とご健在ぶりを感じました。

仙台市科学館では、先生が採集された南極の石の一部、片麻岩やペグマタイト、風食礫を展示しております。(文 青沼一岳 文理平成十一年度卒)

スリーエム仙台市科学館

青葉区台原森林公園 4 の 1
電話 022-276-2201
仙台市地下鉄南北線旭ヶ丘駅 徒歩 10 分

情報をお寄せください

このコロナにより、役員会および総会等が中止となり、会員の皆様とお会いする機会が少ない状況ですので、皆様方の状況・近況についてお寄せいただけましたら幸いです。事務局までメールでお寄せ下さい。

メールアドレス 〓 aonuma.kaz@gmail.com

編集後記

令和二年度から会長、事務局が仙台市地区になり、事務局を担当させていただいております。事務局の青沼一岳と申します。事務局を全うできますよう、頑張つてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

さて、新型コロナウイルス感染拡大により、令和二年度は、仙台市内の全中学校が科学館において実施する科学館学習が全て中止になったほか、市内外から校外学習等で来館する児童生徒が激減いたしました。科学のおもしろさにくらべてもらおうと、科学館動画を制作し、YouTubeにて配信しました。いかなる状況の変化にも対応することが求められることを実感する毎日で。